

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2
教科書等	家庭基礎 自立・共生・創造		教材等	トータル・データ 家庭科ガイドブック・資料+成分表	
目標	人の一生と家族・家庭及び福祉,衣食住,消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ,家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに,生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
観点の趣旨	家庭や地域の生活について関心を持ち,その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに,実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見だし,その解決を目指して思考を深め,適切な判断し工夫し,創造する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し,家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。	
評価方法	学習状況の観察	○			
	レポート・作品・実習	○	○	○	
	定期考査		○		○
学期	月	単元内容(単元名)	具体的な学習内容		
前期 後期	4	家庭基礎を学ぶにあたって 家族・社会との共生	・青年期の課題・意思決定・男女の平等と相互の協力・仕事と生活の調和・家族・家庭・家族の法律		
	5	衣生活をつくる	・被服製作(エプロン)・ミシンを使いこなす		
	6	被服製作	・衣服の現状・課題・選び方・手入れ・保管		
	7	被服の材料・選択・管理機能・ ホームプロジェクト	・ホームプロジェクト計画 ・ホームプロジェクト実施		
	8	ホームプロジェクト			
	9	ホームプロジェクト 食生活をつくる	・ホームプロジェクト発表 ・食生活の現状と課題・調理の基礎		
	10	食生活の課題,食事と栄養・食品 調理の基礎	・調理の基礎 ・五代栄養素 (調理実習を10月～1月2時間連続で月1回実施)		
	11	食生活の安全と衛生	・食品の安全性・食品群と摂取量の目安 ・食品群と摂取量の目安・和食・洋食のマナー		
	12	経済生活を営む	・家庭経済のしくみ・収入と支出・契約トラブル ・消費者信用の利用・グリーン・コンシューマー		
	1	住生活をつくる	・快適な住まい・地域コミュニティとまちづくり ・一人暮らしの部屋探し		
	2	子どもとともに育つ	・子どもの心身の発達・親の役割・環境と福祉 (妊婦体験)		
	3	高齢社会を生きる	・高齢者の特徴(シニア体験) ・高齢者の社会参加・生活と福祉 ・支えあって生きる社会(ユニバーサルデザイン)		